

第2回 栃木県立那須高等学校 学校運営協議会

※ 日 時 令和元(2019)年6月14日(金) 14:30-16:30

場 所 那須高校内 リゾート観光科実践室

参加者 委員10名 県教委4名 事務局8名 代表生徒10名

※諸連絡

※進行(教頭 添田 修)

1、開 会

2、会長挨拶(学校運営協議会 会長 廣瀬 隆人)

・今回は高校生が参加している。自由に発言をしていただけると幸い。

3、学校長挨拶(校長 志賀 直樹)

・6月に第1回を実施し、活発な意見交換で具体的な案をいただき実現に向けて活動してきた。専門部会を作っていただき、夏休み中にお集まりいただいた。

4、議 事(議事進行 廣瀬会長)

(1) 廣瀬会長より

(2) 学校報告事項

1) 魅力化等に関する研修報告

①県立高校魅力化フォーラム報告 ②那須町和い輪い学習フォーラム報告

2) 行事・活動報告

①地域連携・ボランティア活動報告

・黒田原まつり(7/27 土) ・なすまち子どもフェスティバル(8/4 日)

★那須高原のオオハンゴンソウ駆除活動(8/7 水)

★地域密着観光プラン(10/30 水予定)

②一日体験学習状況報告(8/1 木)

・生 徒 57名参加 ・保護者 39名参加 ★アンケート結果

・本年度より教員の説明を割愛し、生徒の発表を中心とした。

3) 令和2年度入学生教育課程の説明

★普通科教育課程

★リゾート観光科教育課程

意見交換

【委員】一日体験では教員の説明から生徒会を中心に実施したことに感動した。

《生徒会》中学生が熱心に聞いてくれてうれしかった。

【委員】黒田原祭りではお世話になりました。(ゆかたコンテスト)今後企画から参加してもらえるといいと思う。

(3) 専門部会報告 (8/27 実施)

1) 「総合的な探究の時間」における地域連携のあり方

【委員】地域との連携、地域に根ざしているもの協働作業が必要である。

(4) 学校の魅力化・特色化のアンケート結果について

○全校生徒に実施

- ・質問1：「本校を知るきっかけ」の回答では⑤中学校⑦家族の回答が多いが、裏付けとして②一日体験学習と⑧先輩や友人があげられる。
- ・質問4：「高校生活は充実しているか」という質問に対し、そうではないと考えている生徒が延べ20人であった。

(5) 代表生徒との懇談会

【会長】(生徒に対して) この協議会は学校と地域がどうしたら良くなるかを考える会議である。生徒の意見を取り入れるため皆さんにも協力願いたい。

【委員】この1年半でどんな交流をして、どんな感想を持ったか。

《生徒》子どもフェスティバス、オオハンゴンソウ、夏祭りのボランティアに参加した。今までは参加する側だったが、行事を動かす側になり、どうして楽しめていたかが分かった。

【委員】部活動加入率を高くしたいという意見があるが、どうして加入率が低いのか、どうしたら高くなると思うか。

《生徒》本校は部活動が豊富だが、どんな活動をしているか説明不足なところがある。運動部は地元の中学校と合同練習をして、理解を深めれば良いと思う。文化部は、外部の力をお借りして、個々のレベルを上げる。

感想

《生徒》委員の方たちと交流することで魅力化を促進できるのではないかな。

第3回にも参加したい。

《生徒》ここで発言できてうれしかった。これから実現できるよう、2年生になったら頑張りたい。

(6) 協議事項

【会長】

- ・総合的な探究の時間、那須高校の魅力化、高校生との意見交換についての感想等のご意見をいただきたい。

【委員】

- ・生徒が成長している。今後、生徒会が生徒の前でパネルディスカッションや、他校の生徒会同士の交流、また、行政の方々と話し合いという機会を生徒に与えてもいいのではないかな。

【委員】

- ・自分たちで何かをやっていくことを増やしていけると自立につながる。総合的な探究の時間でもそれが実現できるとよい。

【会長】

- ・地元に残って地元を支える人になってほしい。学校の実態＝地域の実態
今日、高校の役割も変わってきている。

(7) その他

8、事務局より

第3回開催について(11月中下旬予定) 第4回開催について(2月中旬予定)

9、閉会

※ 事務連絡 ①専門部会は引き続き、16:00からこの場所で行います。